

サポセン mail

No.194. 2020.1.26 発行

＜発行元＞ 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター
千葉市緑区誉田町2-21-684-101 TEL&FAX 043-377-8490
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp
URL:<http://saposen.konnjiki.jp/>

前日は大雨、畠は大丈夫か？

1月19日。前日は予報に反する多い雨量と雪。もともと田んぼだった私たちの畠はきっとドロドロしているだろうと覚悟していました。自治会館を出て歩いていると、久しぶり

に畠に行く大馳くんが「なんとなく覚えてるよ、こうやってこうやって行くんでしょ？」と言って、ずっと真っすぐ行く道を遠かった記憶があると話してくれました。きっと大きくなったらあの時あんなに遠かったのに大したことないなって思うようになるよ、と話しました。



里芋掘りは宝探し！

畠に着くと、心配していたドロドロや滑りそうな事なんて

子どもたちは全く気にしていません。まだ日が当たっていない畠にはビニールの上に氷がありました。ビニールを取り除き、

しきわらを外して、スコップで掘り出したサトイモはあっという間に皆の宝探しの宝物になりました。



土の上の茎や葉は寒さでもう枯れているため無いので何処にあるかというのは難しいのです。そして、雨で重くなった土が簡単には見つけさせてくれません。頼りになるお姉さんの花弥ちゃんがクワで株ごと掘り起こし、小さい子たちは親芋から子芋を外してどんどん袋に入れていきます。スコップやクワで掘り起こし、それを皆で袋に入れるというチームワークは、さすがあそび塾のメンバーです、大人は全く指示しなくても、自分たちで役割を察知し自然と体が動きます。

冷たい湧き水で泥落とし。でも大満足。

芋は沢山あり、泥だらけ。湧き水が流れ着く水場へ行き、軽く泥を

流しました。水はとっても冷た～い！でもみんな夢中で洗っていました。

畠を通りかかるおじいちゃんやおばちゃん、いろんな人が子どもたちに声をかけてくれました。

「何掘ってるの？」「芋煮会楽しみだね～。」「鍋ができる頃に食べに行くよ。」この畠は駅から少し遠くて（4面へ）



少々不便ですが、いろんな大人が子どもたちに声をかけてくださり、暖かく見守ってくださるおおらかな雰囲気はとてもありがとうございます。子どもたちも大満足の収穫でした。



里芋の皮を剥くのは子どもにとって難しいのでは?と心配していましたが、掘りたての里芋の皮は薄く、里芋同士をこすり合わせるだけできれいになり、煮るとすぐに柔らかくなりました。自治会館での調理にはもう慣れている子が多いので、みんなてきぱきと野菜を切ったり肉を切ったりして、安藤さんの味付けで美味しいお鍋ができました。

自治会館に戻り、サトイモはおみやげにするか?という話になったのでみんなに聞くと、ほぼ全員が持て帰りたいと手を挙げました。家族に今日の話をうまくできたかな?

採りたての里芋は皮を剥かなくてもトロトロ!



大鍋いっぱいの芋煮鍋ができました。
れいちゃんのお父さんと男の子たち
でテーブルセットをしてくれました。

今回の芋煮鍋は野菜中心の料理なので子どもたちが喜んで食べてくれるか不安でしたが、子どもたちは何杯もお代わりをして大鍋いっぱいの芋煮鍋はほとんどなくなりました。

大馳くんは「うんめえ~。」「給食とおんなじ味がする。」と言っていました。



「サトイモが食べれない」と言っていた清田かのんちゃんも美味しいと言って食べる事ができました。特に、皆で採って作った料理はおいしいものです。



(記 長菅・安藤)

今！TV やラジオで引っ張りだこの

ドローンジョプラス



リーダー含め3名のメンバーと一緒に、[ドローン体験会](#)が大木戸小学校で開催されました。



ドローンの名前
覚えたかな？



Tello

スクアードカム

Mavic mini

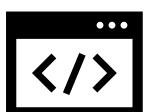
座学編：飛ばす時の注意点や、どんなところでドローンが活用されているかなどを教えてもらいました。



プロジェクターを使い大きなスクリーンに投影することによって、多くの子どもがどの場所でもよく見ることができ、わかりやすく効率的に学習することができました。ドローンの活用方法は、動画を撮影するだけではなく、農業・物流・監視・点検・測量・エンターテイメント・水中などでも活用されていることを知ることは、子ども達の将来の仕事の選択でも役立つ内容であったと思います。



プログラミング編：トイドローンを活用した小学生向けのプログラミングカリキュラムを体験しました。



ドローンは手動飛行だけではなくプログラミングによる自動飛行が可能です。子ども達が考えてプログラミングしたドローンが自動で飛行し、ミッションをクリアした時の達成感を体験する企画でしたが、アプリの接続の不具合がありうまく起動しませんでした。Tello（トイドローン）に子ども達が「がんばれー」と声をかけているのがとてもかわいかったです。



操縦体験：ドローンの操縦方法を知り、壁に貼ってある写真を撮影しました。

初めてドローンを触る子ども達は少し緊張気味でした。しかし中には初めてとは思えないほど上手に操作する子もいました。同時にいろいろ考えなくてはいけないことや集中力もなくてはいけません。最初から上手な子は生まれ持った才能なのでしょうか？ 😊



クイズ：ドローンに関するクイズをしました。



個人的に、ドローンサッカー用のドローンを購入しました！今度やりましょうね☆ 田中